

かがやき

第16号
2008
10月

全県500歳野球公式ホームページ <http://www.b500.jp>

祝 第30回全県500歳野球大会

あなたがいるから ガンバれる!

～ありがとう 全県500歳野球～



第16号の見どころ

- ◎第30回全県500歳野球大会特集
- ◎野球だけじゃない!おらだの真骨頂
- ◎シーズン真っ盛り!パート3
- ◎かがやきちゃんファンクラブ通信

優勝
八郎潟セイルズ

おめでとう!
初優勝



第30回全県500歳
野球大会個人賞

- 【最高殊勲選手賞】
八郎潟セイルズ
千田 清選手(55歳)
- 【最優秀選手賞】
八郎潟セイルズ
小野 孝選手(51歳)
- 【敢闘賞】
秋銀クラブ
泉谷元久選手(58歳)
- 【最優秀新人賞】
八郎潟セイルズ
小野 孝選手(51歳)

- 【オーロドパワー賞】
八郎潟セイルズ
斉藤義巳選手(67歳)
- 秋銀クラブ
山田 勉選手(62歳)
- 大館グリーンクラブ
若木兵一選手(61歳)
- 船川OB
田中栄治選手(71歳)
- 【勝利監督賞】
八郎潟セイルズ
草薨紀久監督(68歳)



準優勝
秋銀クラブ



3位
大館グリーンクラブ



個人賞



3位
船川OB





日本一のしあわせ球児

秋銀クラブ 佐藤 清(74歳)



三十年の節目を迎えた全県500歳野球大会。熟年の甲子園は、数々の新しいドラマと感動を残して、熱戦の幕を閉じました。
 発足四年目のわがチームにとつて、四連覇の大願は成らなかつたものの、三連覇(大会記録)に次ぐ準優勝と初出場以来三十連勝という結果を残せたことに、充実感もひとしおのものがあります。

野球は裾野が広く、年代別の大会も多くなつていきますので、七十歳台になつても、現役で野球を楽しんでいる元球児はたくさんおられますが、小生のように、七十一歳からのスタートで、四年間でこれだけの大会に参加し、これだけ多くの勝利の感動を体験できた現役プレーヤーは、日本広しといえども、いないのではないかと思っています。これが「日本一のしあわせ球児」を自認させていただくゆえんです。
 還暦の年に狭心症を患い、あの世に行きかけたことを思うにつけ、この年齢で好きな野球を楽しめるしあわせをかみしめながら、これまで支えていただいたチームメイト、友人、主治医、会社(仕事も現役中です)、そして家族にも感謝の念をささげたいと思います。

【秋銀クラブ 四年間の主な成績】

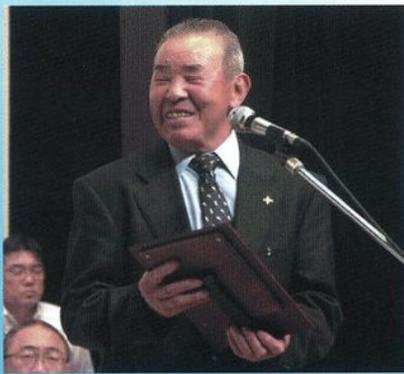
- 全県500歳野球大会三連覇
- 500歳秋田市リーグ戦四年連続首位(無敗)
- 全県550歳優勝(一回)、全県450歳優勝(一回)
- 東北生涯野球二連覇



【選手宣誓】
外旭川パワーズ
藤原昭吉主将



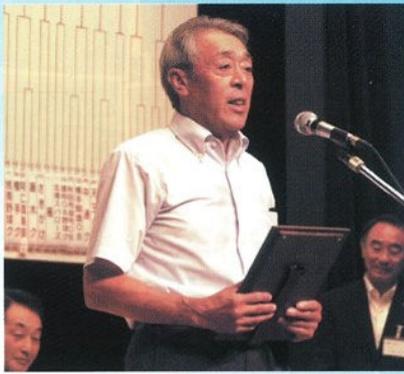
8月22日の抽選会で表彰されました。
グッドマナー賞



船越プライムズ(男鹿市)



仁餉野球クラブ(能代市)



神岡大浦クラブ(大仙市)

初出場おめでとう! 新チーム



五城目球友倶楽部(五城目町)



ニュー目白台ヤンキース(秋田市)



茨島サンフラワーズ(秋田市)



鈴木陽悦参議院議員



御法川信英衆議院議員



大会名誉会長・大仙市市長/栗林次美



【開会宣言】大会副委員長/佐藤尊美



大会審判長/斉藤元三郎



神岡支所長/佐藤良光



受賞者代表/佐々木満



松浦大悟参議院議員



主催・大会会長・秋田魁新報社/社長 佐藤暢男

掲示板☆年を感じさせないチームとみんなの笑顔がいいですね。(能代市男性)★どのチームの皆さんも元気いっぱい笑顔いっぱい、今年もすばらしいプレーを見せてくれましたよ。

署名活動にご協力 ありがとうございました!

永遠の球児たちの大会に永遠のマドンナ、女優・吉永小百合さんをお招きしたいと今年5月から署名活動を展開して参りました。(署名数1,246...8月現在)
佐々木三知夫さんや大内OB野球クラブの堀隆一さんをはじめとして大勢の方々にご尽力頂き、この度吉永さん直筆の大会応援メッセージを頂く事が出来ました。これもひとえに皆様のご協力のお陰と深く感謝申し上げます。

このあとも引き続き署名活動を継続し近い将来、吉永さんを500歳野球大会にお招きしたいと考えております。これからも秋田げんき情報誌「かがやき」の活動に對しましてご理解とご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

秋田げんき情報誌「かがやき」発行人
(有)トピックス・ササキ 代表取締役 佐々木康浩

500歳 野球大会の開催を
心からお祝ひ申し上げます。
今年で30回も続いていると
伺ひ驚かれました。
本日は素晴らしいことです。
始球式には行くことが出来ず
残念ですが、大会の御成功を
祈ります。
皆さん 引き続き気を付けて。
大活躍になって下さい。
頑張ってくださいね!
2008年9月20日 吉永小百合

高齢者 特別賞



秋田東部クラブ・越高重一/東球会・小野勘蔵



港OB・明珍錬作



下岩川OBクラブ・近藤鉄五郎



角間川角球クラブ・高橋正



田沢湖駒陽クラブ・平岡三郎



朝日OBクラブ・和田重好



土崎くらぶ・渡辺一大



白岩OB・柴山純逸
しんまちOB・伊藤利男



角館クラブ・白旗中
神岡大浦クラブ・相馬貞治

功労者 表彰



【個人】佐々木満・伊藤彊・後藤克雄・伊藤久
【企業】ナガセケンコー・サッポロビール・佐藤養助商店

競技者 表彰



【通算最多本塁打(17号)】佐藤伸一(八橋西大畑)
【最年長本塁打(69歳)】田中栄治(船川OB)
【完全試合】伊藤俊明・佐々木清策(新屋日新クラブ)
高橋善孝(和田クラブ)・藤井武美(三菱マテリアル)
小野孝・三戸賢一・三戸達也(八郎瀧セイルズ)
藤林正樹(ナイスミドルOB)
堀内鉄明(東能代イースターズ)
【連続安打(11安打)】高貝博美(秋田東部クラブ)
【1イニング最多本塁打(4本)】福山次夫・佐藤孝志・川本洋治
進藤勉(神岡大浦クラブ)
【大会三連覇】◇秋銀クラブ ※敬称略



熱投!

第30回特集!



7 掲示板☆かがやきちゃんのイラストの頭が輝いていて、本人を想像してしまいそうです。(大館市男性)★是非、かがやきちゃんに会いに来て下さいね。各地野球大会に出没します。

第30回特集!

ホームラン賞





第30回特集!

名キャッチャー & バッター

NEWユニフォームで心機一転!

港OB(秋田市/27回目出場)

優 勝◎3回(5・8・17回大会)
準優勝◎3回(6・9・11回大会)
ベスト4◎2回(7・12回大会)
※かがやき15号表紙の第5回・第8回優勝写真は港OBの誤りでした。訂正してお詫びいたします。



▲左、港OB・右、岩城ベースボールクラブ

ユニフォームを新調し心身ともに新たな気持ちで初戦に挑むも、岩城ベースボールクラブ(由利本荘市)にジャンケンで敗退。来シーズンこそは、古豪復活を期待します!
部長・明珍錬作選手は永年愛着のユニフォームで高齢者特別表彰を受賞。(P4に掲載)
おめでとございます。

500歳の表彰状を書いて20余年



前神岡総合支所長・鈴木三郎氏

この表彰状が送られてくると今年も500歳野球が始まるんだな、今年は何チームが集まり、どのチームの名前が書かれるのだろう・・・?等と思いながら筆を走らせています。自分は書道家でも師範でもないけど、隷書体の書体文字が好きで何回も何回も真似て書いているうちに、大会関係者の方に依頼されて書くようになりました。この表彰状を前に、満面の笑顔で美味しいお酒を飲むだろうな・・・と考えながら書くのがいいのある仕事をしていると思います。身体が続く限りこれからも書かせて戴きたいと思っています。
(専門の方をお願いしていると思っていました!これからも頑張ってください。)



左から小田高監督・小田嶋部長・富田主将

ちなみに今年の全県大会は：1回戦象潟クラブに8対0で敗れてしまいました。8年連続の1回戦ボーイ!来年こそ悲願の1勝期待しています!

「みたく」は、6年前からチーム主催の納涼まつりを始めました。一度遊びに来いと言われお邪魔してみたら：家の中には誰もいないのでは?と思う位の大盛況ぶり!今では地域の一大イベントとなつていました。



高橋恒夫助監督は還暦祝いとして3人の子供たちから貰った自転車で参上!湯沢市から神宮寺小までおよそ40キロ・2時間40分のサイクリングです。還暦記念にしては過激!!



県南一のヒラブナ釣りの名人・沼田春穂選手、開会式ではそのつり竿を持参し残月を追いかけ見事景品の御酒をゲット!



8月7日(木)第26回湯沢七夕健康マラソン大会・栗田崇監督(右)と長澤恒世監督(左)が湯城クラブの必勝を願うユニホームで5km走に挑戦!結果は上々!!

投稿
湯城クラブ登場!
毎度投稿ありがとうございます。

10月12日保戸野小グラウンド
本大会主催の保戸野野球クラブ・成田義郎投手(70歳・左)&児玉司捕手(71歳・右)バッテリー、9イニング投げ2勝をおげました。スバラシイ!保戸野野球クラブは今年創立35周年。おめでとうございます!



第4回585歳保戸野大会

投稿
(お疲れ様でした。せっかくの記録ですので、膨大な資料の中から個人賞を掲載させていただきます。)



投稿
六郷アローズ
高橋清記録員のつぶやき

今年の総会で個人記録をとることで盛り上がり、私は辞退しましたが納得してもらえず結局全試合の記録をとりました。結果を集計したので是非「がやき」さんで取り上げて下さい。500歳大会では3回戦まで勝ち上がり、西仙東クラブさんに破れ、正午からの反省会がなんと夜11時まで。これにはすっかり疲れました!。

- 【首位打者】石田 鉄郎 ▶ 4割8分1厘
- 【ホームラン王】石田 鉄郎 ▶ 3本
- 【打点王】鈴木 善昭 ▶ 9点
- 【盗塁王】石田 鉄郎 ▶ 16個
- 【ゴールドグラブ】伊藤 護・石田 鉄郎 齊藤 章・竹谷 博史
- チーム打率 ▶ 2割8分6厘

ネット越しに見た30回大会・ホームラン雑感

秋田県野球協会審判部

前部長 後藤克雄氏

本大会は八郎潟セイルズが見事秋銀クラブを破り、初優勝で幕を閉じた。昨年は同チームに決勝戦で敗退し、今年こそはと健闘を誓ったそう。成るべくしてなった優勝かもしれない。

第1回大会のころは「不惑」40代を人生の下り坂と見たが、30回大会では71歳の投手が強豪を完封し、スタンドに入ったホームランは143本と、新しい記録と歴史を残す大会となった。これは投手の球速がアップしたこと、打者のスイングが鋭くなったことなどで、毎年選手の体力が向上していることを表しているといえるだろう。

私は「かがやき」15号でホームランを判定した経験述べたが、大リーグでは今シーズン途中から監督がVTRで審判員に打球の確認を求め、最終判定を下すことを認めた。それだけ日常的に誤審が頻発し解決できないということだろう。大リーグの野球は「規則」が絶対的ではなく、審判員の「判断」があくまでも正しいと強調されているため、一度判定を下したら、正しい裁定に訂正を要求されても頑として覆されない。監督がこれを続けると退場を宣告する。そこが日本の審判員と違う。日本の審判員は「正確」で「信頼」されることに誠心誠意努めている。150年の歴史を持つ大リーグの審判員が他の競



第30回全県500歳野球大会で功労者表彰を受ける後藤氏。

技と同じく、試合進行を止めてVTRで判定を下すのに対して、日本の審判員は「規則」を順守し判定に対して問題があれば場内放送を使って観衆にも丁寧に説明し、スムーズに再開できるように、習得練習を怠らず常に腕を磨き、完璧な判定を心がけてきた。審判員として権利・権限を慎重に使わないと、必ず制限されるということが証明された対岸のシーズンであった。

今シーズンも残りわずか。500歳野球大会の方向を決めるため、選手にはフェアプレーで楽しく、ときには厳しく覇を競い、絶えず更新される記録に、健康第一で挑んでいきたい。

我が人生……。野球と共に!

12

角間川角球クラブ 高橋正氏

第30回全県500歳野球大会の開会式で第1回大会から30回連続出場の高橋正選手(80)に高齢者特別表彰受賞の感想を伺いました。「第1回から出場させてもらって、お蔭様で今までやってこられました。これからも若い人達に協力してやっていきたいと思っていますので、よろしくお願います。」



少年時代は陸上の選手。野球はやったことが無く、現在49歳になる息子さんが中学3年生の時、親子野球でどうしても人が足りないからと乞われて参加したのが野球との出会いでした。元来走るのが好きで、その足を生かせることもあり、楽しくて仕方なく、どんだんのめり込んでいったそうです。

動きで球拾いやボールボーイも積極的にやってくれます。今はやりのメタボとは無縁の体重50キロ、足腰の痛みもなくいたって健康。これからも健康で大好きな野球を続けてほしい」とチームメイトからの言葉。

仲間から高正(たかしょう)さんの愛称で呼ばれる高橋さんは、とつても面倒見が良く80歳とは思えないキビキビとしたとつても楽しそう。

500歳野球大会が終わった10月上旬には、チーム主催の還暦野球角間川大会が毎年行なわれます。今年も2会場の試合が終わったあと、参加8チームでの親睦会が行なわれました。「いろいろな大会に行つて旧交を温めるのが楽しみだ」という高橋さん、他チームの選手と杯を酌み交わし、とつても楽しそう。沢山の方々から今回の受賞を祝福されたようでした。

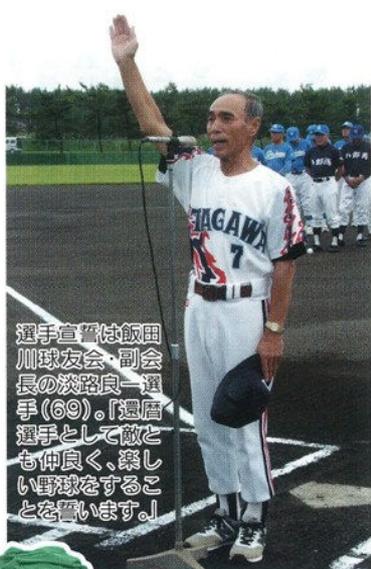


この後もあちこちの球場で元気なユニフォーム姿を見せてくださいね! 受賞おめでとうございます。





始球式は男鹿南秋地区で唯一の女子野球部員、大潟中学校1年の安東桃香さん。小学4年から野球を始め、小学6年の時はセカンドでレギュラーとして活躍したそうです。男の子にも負けない気丈なところがまたカワイイと、オール大潟のじいちゃんたちは自分の孫の自慢をするように、代わる代わる何度も説明してくれました。



選手宣誓は飯田川球友会、副会長の藤路良一選手(69)。「還暦選手として敵とも仲良く、楽しい野球をすることを誓います。」



大会主催のオール大潟・西尾繁夫部長(74)は大会会長として、到着する全てのチームを笑顔で迎えていました。西尾部長は中学から野球を始め、野球暦はかれこれ60年。オール大潟のチーム結成や本大会の立ち上げにも中心として関わってきました。全県500歳野球大会の拡大・レベルアップに伴って「60歳以上の選手の活躍の場を」と、始まったこの還暦大潟村大会。当初、大潟は入植者が多く、指導者の不足で大変難儀したそうです。「近隣のチームや関係者に支えられここまでこれた」と嬉しそうでした。



土管のベンチにドカンと座って試合を見守るのは三種体協琴丘OBの新監督・三上美紀監督(67)。この日は11人で大会に参加、選手9名にボールボーイを出すとベンチは一人きりです。ニコニコしながら試合を見守る姿はプレーをしていなくても楽しそう! 地元のスポーツ少年団と試合をするなど子供たちとも交流を持って楽しんでいるそうです。



キャッチャーがヘルメットを外した瞬間、緑色?!?!「水泳のキャップですよ?」と念のため確認すると、「そうそう。ハゲ防止!」ですって。若美OB・キャッチャーの武田雅孝選手(60)、今年還暦大会デビューです。



1回戦セプティ山本を12対2で下した出戸浜クラブ。最終回、3ランを放った2番レフトの佐々木銀治選手(68)。これは500歳野球でいえば、最年長ホームラン(69歳)にあと1歩の記録です! スパライ!!



ちょうどこの日、60歳の誕生日を迎えたのは船越プライムズ・石垣礼蔵選手。還暦大会デビュー戦は3打数1安打。今日が石垣選手の誕生日と知ったチームの仲間「これから残念会と一緒に祝ってやるべ」と優しいお言葉。

新たなスタート! 能代山本地区500歳野球大会

9月6日/能代市民球場

今年「能代地区500歳野球大会」から「能代山本地区500歳野球大会」に名称を変更、新たに5チームが加わり計17チームでスタートとなりました。この大会は平成4年、当時参議院議員(総務庁長官)であり自他共に無類の野球好きだった佐々木満氏と能代市野球協会の会長(初代大会会長の故鈴木音安氏などが尽力して行われてきた「能代ベースボールマン(満)の会」が源流です。開会式では東能代イースターズ・佐藤一博主将が「野球の面白さ、楽しさ、すばらしさを堪能する大会にしよう!」と力強く宣誓しました。

第30回全県450歳野球大会

8月23~25日/大館樹海ドーム他

連覇達成大住クラブ!
昨年大会と同じ顔合わせとなった決勝戦は、6対6の同点で迎えた延長8回表に、疲れの見えた鷹巣・武田投手から打者一巡の猛攻で5点を奪い取った大住クラブがそのまま逃げ切り11対6で見事連覇達成。勝利投手となった相原投手笑顔でガッツポーズ。やったー! ツポーズ。やったー! 俺もついに「かがやき」に載るぞー!

第5回錦秋湖500歳野球大会

8月23・24日/岩手県西和賀町

「おー、ヤマトが投げてる。」「ピッチャー頑張れ!」応援とも野次ともとれるスタンドからの声援を受けて、山内杜氏の秘密兵器! 大和正治郎選手(62)の登板です。この日は投手陣が不在の為急遽出番と相成りました。「ピッチャーいいぞ!」「力抜け!」などいろいろな声援が飛び交って、時折返事をする余裕も! 昨年度優勝のほつとマスターズ(岩手県西和賀町)に連打をくらって17対5と残念な結果でしたが、大和選手は気持ちよさそうに投げっていましたよ!

全県選抜600歳野球大会

10月9・10日

シーズン真



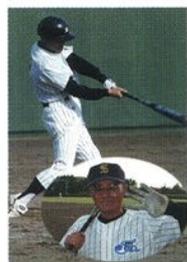
残念ながら24チームでの浴衣の開会式ができなかった今大会。その代わり、二日間試合の後、球場ごとにお天道様の下でシートを広げ懇親会を催すことを申し合わせ、ここ鶴舞球場でもA・B会場あわせ8チームが野球の後、喉を潤しました。大友康二大会会長が来年の浴衣の開会式&懇親会の復活を約束すると、場内からは拍手や歓声が沸きました。やっぱり600歳は浴衣ですよ〜！来年、楽しみにしています。



例年参加チームの常宿にしていたウェルサンピアの営業終了に伴い、本大会は今年から開催形態と会場が変わりました。いつもと勝手が違ったこの大会の準備にはかなりのご苦労があったようで、「軽トラックが山積みになってもまだ足りないくらい」準備品が多かったそうです。準備に奔走された下浜クラブの柴田文男助監督(菊)と会場担当となった本荘三六オールドボーイズの菊地智義選手(右)。挨拶を交わしお互いの労をねぎらいました。



山形県から還暦チームが600歳野球を視察に！後日交流試合を予定している岩城口ケッターズ田口昭雄会長(68)と握手を交わす鶴岡オールドボーイズ小松敏雄監督(71)。



の独り言も横から聞こえてきました。(・)

昭和愛球会対十文字球友会では、昭和愛球会打線が爆発。合計12得点挙げた昭和打線とひと際目を引いたのは、サイクルヒットを記録した島山隆志選手でした。最終回の打席で、しぶとく内野安打を記録してサイクルヒットの達成です。4本のヒットなので4本サインで決めていただきました。おめでとうございます。(オレだって3本もヒット打ったのに「Three...」と〇選手の

元木山球場



にもいとこなかつたもんな〜」それで言葉少なだったのが、でも大事な場面であつたんだからやっぱり、おめでとうござります！

飯田川球場
角間川角球クラブ対五城目OB戦は、序盤6対1とリードを広げた角球クラブでしたが、4回に2点差まで追いつけた五城目OBが最終回、1番伊藤誠選手のサヨナラヒットで7対6と逆転勝ちを納めました。「打つたのはストレート」と言葉少なな伊藤選手。外野からは「あのヒット以外今日なん



選手宣誓する三田主将



元木山球場・藤原湯上市議会議長による始球式

雨の為開催が1日順延となりましたが、県内外の12チームが参加して盛大に開催されました。来賓の祝辞では、石川潟上市長が「無事これ名馬なり」と言う様に、「再起不能」になつたりしないように、歳を考えてケガの無いように野球を楽しんで下さい」とユーモアあつたぶりの挨拶に会場は爆笑です。選手宣誓は北上シルバース主将・三田徳安選手が力強く宣誓を行い2日間に渡る熱戦の火蓋が切つて落とされました。

元木山選抜540マスターズ

10月12・13日

第5回東北生涯野球大会

10月11~12日/雄和花の森球場

青森 秋田・岩手・宮城の4県から各2チームの8チームが参加。秋田からは予選を勝ち上がった秋銀クラブと秋田東部クラブが出場しました。本大会初出場の秋田東部クラブ、初戦は宮城県代表をスペシャルルールの延長戦で生き残り、二回戦・青森県代表戦では小さなミスが続くペースを掴むことができず、残念ながら決勝戦進出は成りませんでした。主催者によると来年は全国大会の計画もあるとか。是非予選を勝ち上がってリベンジを！



一回戦・延長を征し喜ぶ秋田東部クラブ小松正人選手(52)ホームイン!

第14回還暦野球角間川大会

10月4日/川港親水公園グラウンド

朝からあいにくの天候でしたが、A・Bブロック各4チームに分かれ、試合は予定通り行われました。試合終了後、角間川の某温泉施設にて行われた表彰式&懇親会はプログラムによると表彰式が先のはず。しかし、会場に到着すると、先に試合が終わつたチームの皆さんは、かなり練習ボールを使った練習ではありませぬが進んでおり、試合とは別の熱気(温泉の熱気ではありません)でムンムン状態。一見「シャン」としているようでも、乱雑に転がるお銚子を見れば...



【Bブロック優勝】なんと、主催14回目にして初優勝。本場で働く角間川角球クラブ。



【Aブロック優勝】懇親会ですっかりリラックスしたご様子の方角球クラブ。

第4回美郷町500歳野球大会

9月7日/六郷球場

美郷町となつて4回目を迎えたこの大会も、度々雨の影響を受け3回の順延を経てやっと開催に漕ぎつきました。今日9月7日も小雨の中での開会式となり、「雨が降らない内に、今日中に決勝まで行う事」を最優先にシートノックも行なわず試合に突入。選手・審判・スタッフ連携のスピーディな試合運びが目を引きました。



優勝・千屋クラブ



かがやきちゃんファンクラブ通信

第1部 午後4時〜秋田市文化会館4F会議室

第1回 ファンの集い

8月22日(金)

かがやきちゃんファンクラブ

ファンクラブ代表挨拶

大友康二会長

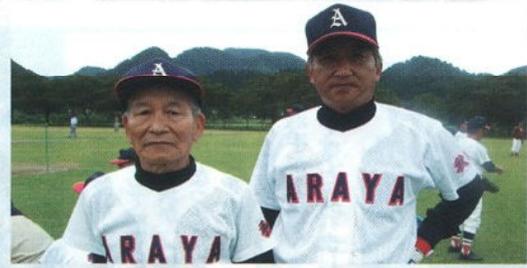
自分は国体関係・体協理事長など経験し、秋田のスポーツ担当として60年近く関わってきた。他県から「秋田県は何故強いのか」聞かれる。秋田県は野球にしるスキーにしる、新しいスポーツの取り入れが早く層が厚いのだ。また、秋田の新聞「さきがけ」では必ず記録・成績を載せてくれる。他県の新聞よりもスポーツ欄が多い。それに係わった人にしてみれば、たった1行でも誇らしく嬉しいものである。だから、秋田のスポーツは強くなったのだ。



それと同じように「かがやき」があるおかげで、他チームや他地域の情報がわかり、自分達も頑張ろうとか真似しようとか、やる気を起す。それが嬉しくて「かがやき」を育てたい、続けたい、感謝したい、そういう気持ちでファンの一人になりました。よろしくお願いたします。

第1回 かがやき 奨励賞

受賞の詳しい様子はHPで!



新屋日新クラブ(秋田市)
仙北谷宇一郎(82歳)/仁(52歳)親子
第28回大会(500歳野球)で高齢者特別表彰を受賞した仙北谷宇一郎さんは、同大会対下浜クラブ戦で捕手として息子仁さんの球を受ける。これも健康と大の野球好きが成し得た事。これから何世代も野球一家として生涯野球の素晴らしさを伝えていって頂きたい。



脇本OB野球クラブ(男鹿市)
部長 天野弘志(67歳)/節子夫妻
地域の野球をはじめとするスポーツの振興に大きく貢献。前脇本OB野球クラブ・監督、そしてマネージャーとして御夫婦で野球に取り組む姿は、自チームだけではなく他のチームの素敵な模範となっている。夫唱婦隨で取り組まれた野球をこれからも未永く愛して頂きたい。



船越プライムズ(男鹿市)
今年で29回を数える中央地区小学校招待野球大会(プライムズ杯)を主催する。スポーツを通して、心身共に健全な児童を育成し、併せて小学校野球の水準向上をはかる目的で、昭和55年に第1回大会が開催される。現在、男鹿南秋地域の小学校や保護者にとってかけがえのない大切な大会となり、数多くの有名選手もこの大会から輩出されている。これからもプライムズ杯が益々発展される事を願ってやまない。



横手クラブ(横手市)・顧問 高橋徳之助
日々の練習は常に一番乗り。試合が始まると自軍の選手の為に真っ先にバットを拾い手入れを怠らない。89歳という年齢で、常にチームの為に裏方として働く姿は、後に続く後輩の尊敬の対象となっている。

かがやきちゃんファンクラブ 加入チーム

茨島サンフラワーズ 山内杜氏

太田クラブ 仁井田野球クラブ

川尻総社クラブ 五城目球友倶楽部

●チーム写真をかがやきwebで紹介させていただきます。

皆様からお預かりした会費は、かがやき本誌の発行およびHPの運営等に大事に使わせていただきます。ありがとうございます。(個人会員は公表いたしませんのでご了承ください。)



全県500歳野球大会の抽選会の直後に対戦相手も決まり、それぞれの意気込みを伺うことができました。参加者からは「普段なかなか話すことのないチームの方と交流ができてよかった」と好評でした。

第2部 午後6時〜ルポールみずほ

謹んでご冥福をお祈りいたします。

板垣誠一氏(74歳)前神宮寺嶽クラブ所属【平成20年8月28日逝去】

◆故板垣誠一氏を偲ぶ◆

仁井田野球クラブ 橋本 佳也

平成20年8月29日付朝刊、秋田さきがけ「おくやみ欄」を見て、板垣誠一さんの訃報を知り私は言葉を失った。

板垣さんとの思い出を語るとき、先ずもって、昭和21年(戦後第一回目)全県少年野球大会第12回大会を思い出さずに語ることはできない。何故なれば、二人とも昭和8年生れの同年あり、更に生れ在所も旧仙北郡内、彼は人を知る野球発祥の地・神宮寺(神宮寺小、現在の平和中)であり、私は当時の荒川村(朝日小、現在の協和中)。戦後の荒んでいた時代、野球(ベースボール)というものを教わったのが始まりだった。全県少年野球大会へ出場するために、郡の大会で優勝しなければならぬが、当時は仙北郡一円が一区(現在三区)であり、神宮寺、生保内、長野、朝日等が強豪校として名を連ねていた。

その中で、すでに神宮寺の板垣投手のドロップが凄いと噂は全県に流れていたと思う。当然その年の郡大会で優勝。更に全県大会でも、対土崎を破り優勝したことは皆ご承知のとおりだ。

さて、私は縁があつて大曲営林署へ就職し勤務していた頃、何年か後に板垣さんも大曲署へ勤められたので早速意気投合、それ以来退職してからも親交を重ねてきた仲である。大曲営林署時代の野球仲間には、現在全県500歳野球大会で活躍中の秋田林友クラブの佐藤良さん、角間川角球クラブの大石順一郎さん、

前に大曲クラブで頑張られた寺田三雄さん達がおられた。

その後私は各営林署を転勤、昭和43年に和田営林署へ転勤したところ、「縁は異なるものの味なもの」又しても板垣さんと一緒になったのである。当時秋田営林局各署大会や、県南十署大会などに参加出場するに、板垣ピッチャーの快刀乱麻によりお陰様を持つて、連戦連勝、毎回祝勝会が続いたものだ。その頃和田営林署で頑張った野球仲間には、飯島ジャガーズの伊藤恵司さん、和田クラブの伊藤玉男さん達がいた。

板垣さんは何をやらせても器用な方で、特に一杯飲むと必ず太鼓をたたき、これがまた凄く上手で、我々酔っ払い共を自然と立ち上がらせ踊り出さすという特技の持ち主でもあった。いづれにしても惜しい人を亡くしたのもよ、せめて80歳、90歳までは……最後に謹んでご冥福をお祈りします。

合掌

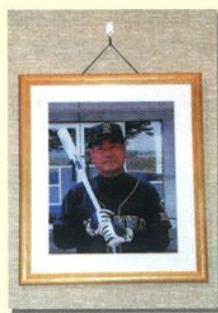


昭和45～46年頃 和田営林署時代
上段左から3人目・故板垣誠一氏
上段右端・伊藤恵司氏(現・飯島ジャガーズ)
下段右から3人目・橋本佳也氏(著者)

写真のご注文を承ります。

本誌に掲載の写真はモチロン、かがやきの膨大なデータの中から貴方のカッコイイ写真がないかお調べしてお譲りできます。

- 2L写真 … 300円から
 - 六つ切り写真額入り …… 3,000円から
- ※お気軽にお問い合わせ下さい。



第30回記念大会ロゴ入りボールペン

- 1本 …… 1,500円



お気に入りの写真で2009カレンダー

- 1部 …… 800円
- (会員価格)
※15枚以上割引有り



“かがやきちゃん”ファンクラブ会員募集中!



「チーム協賛」及び「個人会員」募集!

「永遠の球児たちのユメ載せて、秋田に“げんき・かがやき”を伝える“夢集団”が発行する、秋田げんき情報誌「かがやき」のイメージキャラクター、“かがやきちゃん”を応援しよう!

チーム協賛の部

協賛金1万円(年間)をお願いしております。

個人会員の部

◆正会員:1口/3,000円

特典その1▶会員No.とパスワードを発行、かがやきホームページの会員サイトと秋田げんき情報誌「かがやき」を申込住所へ直接送付させていただきます。

◆準会員:1口/1,000円

特典その1▶秋田げんき情報誌「かがやき」を申込住所へ直接送付させていただきます。

◎会員期間:会費払込日の翌月1日から1年間有効

※期間満了1ヶ月前に「更新のご案内」を差し上げます。

振込方法

郵便局の払込票にてお願いします。

口座名 ●かがやきちゃん ファンクラブ

口座番号 ●02250-3-105682

※個人会員でチームに所属されている方は、払込票通信欄に「チーム名」をご記入願います。

まちがい探し



A	B	C
D	E	F
G	H	I

左右の写真を見くらべ、間違いのないエリアを1つ選んでください。
正解者の中から抽選で「第30回大会記念ボールペン」を5名様に差し上げます。



★応募のきまり
●応募締切:平成21年3月31日必着
●応募方法:官製ハガキ又はFAXにて、①答え ②住所 ③氏名 ④野球関係者は所属チーム名など⑤本誌の感想 ⑥その他(ご意見・ご要望など)をお書きの上、〒019-1701 秋田県大仙市神宮寺字荒屋17-4・FAX 0187-72-2731 かがやき編集部「プレゼント係」までお送りください。
★当選者発表・発送
次号「かがやき17号」にて発表いたします。

当選者発表
かがやき15号
まちがい探し

当選者

・松本小三郎様(にかほ市)
・芹沢 安子様(横手市)
・佐々木大河様(大仙市)

答え B

3名様に「味どうらく」と「かくし味」をセットにてお送りいたします。たくさんのご応募ありがとうございました。

チームの情報を ください!

今年こんなことを企画しています…とか、こんな趣味を持つ選手がいるのです…など、チームの情報であればなんでも結構です。かがやき編集部のホームページや「秋田げんき情報誌 かがやき」で紹介させていただきます。お気軽に情報をご提供ください。



鷹巣野球クラブ・北上シルバースの皆さん

変わらない仲間がいる。
変わらない「味」がある。

いつもの場所におかえりなさい。味どうらくの里、かくし味。



東北醤油株式会社 大仙市神宮寺字本郷野102 ☎0187-72-2020(代)

<http://tohoku-syoyu.co.jp>